

## 兵庫医科大学 英語

2025年 1月 29日実施

[問 1]

(1)

(A) ① イ ② オ

(Across the European Union and US, the report further notes, 300 million jobs) **could be lost to automation**(.)

(B) ③ ウ ④ エ

(And moving into roles that center those skills could help) **lessen the chances of being replaced**(.)

(C) ⑤ オ ⑥ ア

("in science, and medicine and law ... people) **whose job is coming up** (with a new legal strategy or business strategy.)

(D) ⑦ ア ⑧ オ

(I think it'll) **be a long time before** (AI has the ability to interact in the kinds of ways that really build relationships".)

(E) ⑨ ア ⑩ イ

("In many cases, there's) **no immediate threat to jobs**(," she says, "but tasks will change.")

(2) 人間相手の場面では、AI よりも人間による対応が望まれていること。

(3) ア

[問 2]

(1)

①	カ	②	オ	③	ケ	④	ア	⑤	ク
⑥	キ	⑦	イ	⑧	コ	⑨	ウ	⑩	エ

(2) その子どもが、足首から下の完全な切除と下肢の一部の切除という処置を切り抜けて生き残り、その後何年も生きていたと推定されていることは、驚くべきことである。

(3) その子どもが手術の間に、植物由来の薬を用いた鎮静といった、痛みの管理を受けていたかどうかということ。

[問 3]

(1) 昆虫による授粉が減少したり、春に樹木が芽吹く時期が早まっていたりすることに始まり、海鳥が灯台に飛び込んだり、ウミガメが日の出の太陽を捜して明るいホテルに引き寄せられ、誤って内陸部に迷い込んだりすることに至るまで、彼らが行った先行研究の検証は、126 件の過去の論文をつき合わせて、その影響の程度を調査している。

(2) その結果は完全に悪いものとは言えなかった。科学者たちが言うには、ある地域のある生物種は夜間の光によって恩恵を受けていた。植物の中には成長が早まったものもあり、一部のコウモリは個体数が増加した。しかし、全体としての影響は破壊的なものであり、とりわけ焼けつくような電球や高速で走る自動車のライトに引き寄せられる昆虫にとってはそうであった。

- (3) 人工光の拡大の根底にあるのは、人間の心に深く根差した夜の闇を昼間のように変えたいという、闇への恐れともいえる思いであるから。

[問 4]

- (1) We become ill when our lifestyle or mental balance is disturbed.

[別解 1] When we become ill, there is an imbalance in our rhythm of life and mind.

[別解 2] We develop illness when losing our rhythms of life or balance of mind.

[別解 3] When we get sick, our lifestyle rhythm and emotional balance are lost.

- (2) Disease is the body's sign that we should change the way we live.

[別解 2] We develop illness when losing our rhythm of life or balance of mind.

[別解 1] Illness is also a sign from the body that it is time to change the way we have been living.

[別解 2] Diseases are also our body's sign of the need to change the way we live.

[別解 3] Also, a disease is the body's sign for us to change the way we have been living.

[別解 4] And it can also be said that we become ill when our body complains that it is better to change the way we live.

- (3) When we face the facts and are willing to confront illness, our immune system is activated and this makes it easier to set the stage for physical healing.

[別解 1] If only we could face the facts and be mentally prepared to face the disease, the immune system will be activated and the body will be poised for healing.

[別解 2] If we don't turn back on the facts and can be prepared to face up to illness, our immune system will be activated and our body can be ready for cure.

[別解 3] By facing the facts and preparing our mind to tackle the illness, our immune system is activated, allowing our body to start to heal.

<解説> [以下の構造説明においては、\_\_ が S、\_\_ が V、... が O、... が C を表す]

[問 1] 長文総合

(1)

- (A) (Across the European Union and US, the report further notes, 300 million jobs) **could be lost to automation**(.)

「この報告書によれば、欧州連合と合衆国全体で 3 億の仕事が自動化のせいで失われる恐れがある」

<lose A to B> 「B のせいで A を失う」「B は A に取って代わる」

- (B) (And moving into roles that center those skills could help) **lessen the chances of being replaced**(.)

「それらの技能に焦点を当てる役割に移行することは、取って代わられる機会を減らすのに役立つだろう」

<help (to) do ~> 「~するのを助ける、~する助けになる」

- (C) (“in science, and medicine and law ... people) **whose job is coming up** (with a new legal strategy or business strategy.)

「科学や医学や法律の分野で…新たな法的戦略やビジネス戦略を思いつくことが仕事である人々」

<come up with ~> 「~を思いつく」

- (D) (I think it'll) **be a long time before** (AI has the ability to interact in the kinds of ways that really build relationships”.)

「AI が様々な方法で実際に関係を構築する上で人間と触れ合う能力をもつにはまだ時間がかかると思う」

<it will be a long time before ~> 「~するには時間がかかるだろう」

(E) (“In many cases, there’s) **no immediate threat to jobs**(,” she says, “but tasks will change.”)

『多くの場合、仕事に対する差し迫った脅威はないが、作業内容は変化するだろう』と彼女は述べている」

immediate 「今すぐの、即座の、差し迫った」

(2) 下線部の直前の文で、ロボットは表面的にはガンを見つけるのが人間よりも上手いかもしれないが、たいていの人はそれでも、ガンの告知を医師にしてもらいたいと思っていることが述べられている。これを一般化すれば、AI のような機械がする仕事が増えても、対面的な場では人間が対応する必要がまだまだあるということである。このことを踏まえて答案を仕上げればよい。

(3)

① 「～を回避する」

② 「～を減らす」

③ 「～に固執する」

④ 「～を呼び集める」

下線部を含む1文の意味は「要は、予測できない仕事を含む、流動的で変化している環境の中で役割を求めることは、AI に仕事を奪われることを避ける優れた方法である」である。avert は「～を避ける、～を回避する」という意味の語であるが、知らなかったとしても、文脈からある程度予想することは可能である。

[問2] 長文総合

(1)

( ① ) カ ~ who lived at **least** 31,000 years ago in Borneo.

( ② ) オ ~, and caring for sick people is an **inherent** part of what it is to be human.

( ③ ) ケ The practice **relies** on doctors being able to: control ~.

( ④ ) ア **Afterwards**, rehabilitation is essential, and ~.

( ⑤ ) ク ~ but direct evidence of ~ is **limited**.

( ⑥ ) キ Any disease or injury that affects ~ the body does not necessarily **leave** traces in the bones, ~

( ⑦ ) イ ~, which are **assumed** to be evidence of previous medical care.

( ⑧ ) コ ~, we do not have ~ in the region, **unlike** the situation in other contexts, such as an example from ~.

( ⑨ ) ウ ~, or if the tissue died **because** of poor blood circulation caused by ~.

( ⑩ ) エ ~, and because microscopy evidence **indicates** signs of bone healing at the site of amputation.

まずは文構造を確認して空所に入れるべき品詞をできるだけ確定し、一番確実と思われるところから順に答えを決めていくことが大切である。

( ① )は、<at least> 「少なくとも」という副詞句を想定する。

( ③ )は、<rely on ~> 「～に頼る」という熟語を想定する。また、主語が単数形であり、前後の英文が現在形であることから、三単現のsがつく可能性が高いことも判断材料になる。

( ④ )には、副詞が入ることが想定される。空所を含む文の直前において、医師による手術、また術後の処置について述べられており、その後はリハビリが不可欠となるため、afterwards が入る。

( ⑥ )には、構造上動詞の原形が入ることが想定される。選択肢のうち、この条件に該当するのは、leave のみである。

( ⑨ )は、<because of ~> 「～のために、～を理由に」という副詞句を想定する。

この時点で、イの assumed、エの indicates、オの inherent、クの limited、コの unlike が残っている。

三単現のsをとまなう indicates は残った空所のうち、( ⑩ ) にしか構造上該当しない。

( ② )は、直前に an があるため、ある程度選択肢を絞ることができる。空所に inherent を入れると、空所を含む1文の後半は「病人の世話をすることは人間であることに本来備わっている部分である」という意味になる。

( ⑤ )を含む文では、史実に関する文書と直接的な証拠が対比的に述べられている。多くのことを教えてくれる文書と比べると、直接的な証拠は限定されているという内容を想定する。limited が入る。

( ⑦ )を含む文は、空所に assumed を入れると「骨格における感染部位と関連があると考えられる銅板の例も見つかっている。それは昔の医療の証拠だと想定される」となる。

( ⑧ )には、unlike を入れると「他の文脈における状況とは異なり」という副詞句が出来上がる。unlike は、形容詞としての用法もあるが、ここでは前置詞として用いられている。

- (2) 「その子どもが、足首から下の完全な切除と下肢の一部の切断という処置を切り抜けて生き残り、その後何年も生きていたと推定されていることは、驚くべきことである」  
和訳すべき箇所の構造を確認する。

[That this child survived the procedure and is estimated to have lived for many years afterwards] is astounding.

that 節が主文の主語、is が動詞、astounding が補語の第2文型である。that 節内は“this child”が主語、survived と“is estimated”が動詞である。survive は他動詞で「～を生き延びる」という意味である。“is estimated to have lived”という箇所は <estimate O to do ~> 「O が～すると推定する」という表現が用いられている。“the procedure”「その処置」の内容であるが、第1段落にまで遡る。第2文に“~ the successful complete amputation of the foot and partial removal of the lower leg of a child who lived at least 31,000 years ago in Borneo”とあり、その意味は「少なくとも31,000年前のボルネオ島で生活していた子供の足の完全切除と下肢の部分切除」である。

- (3) 「その子どもが手術の間に、植物由来の薬を用いた鎮静といった、痛みの管理を受けていたかどうかということ」

下線部(3)“Another interesting open question”は「別の興味深い未解決の問題」という意味である。その内容を具体的に日本語で説明する設問であるが、be 動詞の is があることから、下線部(3)の内容がその後ろにあると理解できる。つまり“whether the child received the pain management during the operation, such as sedation through the use of a plant-based medicine”の箇所をまとめるとよい。

[問3] 長文総合

- (1) 「昆虫による受粉が減少し、春に樹木が芽吹く時期が早まっていることに始まり、海鳥が灯台に飛び込んだり、ウミガメが日の出の太陽を捜して明るいホテルに引き寄せられ、誤って内陸部に迷い込んだりすることに至るまで、彼らが行った先行研究の検証は、126件の過去の論文をつき合わせて、その影響の程度を調査している。」

和訳すべき箇所の構造を確認する。

<From reduced pollination by insects and trees budding earlier in spring>,

≤to seabirds flying into lighthouses and sea turtles mistakenly wandering inland to bright hotels

in search of the dawn sun>,

their study-of-studies brings together 126 previous papers <to assess the extent of the impact.>

第1文の前半に関しては、<from A to B> の関係になっていることを見抜くことが出来るかがポイントとなる。From A のAの部分に“reduced pollination by ~”と“trees budding ~”という名詞句がandで並列されている。“reduced pollination”を“by insects”が、treesを“budding ~”が修飾している。形どおり訳せば、「減少している昆虫による授粉」「春のより早い時期に芽吹く樹木」となるが、文に戻し

て、「昆虫による授粉が減少している」「春に樹木が芽吹く時期が早まる」といったように訳してもよいだろう。to B の部分に関しても同様の構造で、seabirds と “sea turtles” が and で並列されている。seabirds を “flying ~” が、“sea turtles” を “mistakenly wandering ~” が修飾している。lighthouse の意味を知っている受験生は少ないかもしれないが、「海鳥が飛び込む灯りの付いた家」という意味から「灯台」と予想することは可能かもしれない。同様に inland も推測する必要があったかもしれない。語形から「内陸へ」との訳が可能であろう。<in search of ~> は「~を求めて」という意味の頻出の熟語である。

後半部分に関しては、主語の “their study-of-studies” の訳出を「研究の研究」とすると不自然になってしまう。studies は過去の研究のことを指していると考えられるので「先行研究の検証」といった和訳にするとよいだろう。“to assess the extent of the impact” の部分は「目的」を表す不定詞であるが、前から訳出した方がより自然な訳になるだろう。よって「126 件の過去の論文をつき合わせて、その影響の程度を調査している」などと訳すとよいだろう。

- (2) 「その結果は完全に悪いものとは言えなかった。科学者たちが言うには、ある地域のある生物種は夜間の光によって恩恵を受けていた。植物の中には成長が早まったものもあり、一部のコウモリは個体数が増加した。しかし、全体としての影響は破壊的なものであり、とりわけ焼けつくような電球や高速で走る自動車のライトに引き寄せられる昆虫にとってはそうである」  
和訳すべき箇所の構造を確認する。

The outcomes were not <purely> negative.

S V C

The scientists said [certain species in certain locations benefited <from night-time light>:]

S V O S' V'

some plants grew <faster> and some types of bats thrived.

S V S V

But they said [the overall effect was disruptive,

S V O S' V' C'

<particularly> <to the insects (drawn <to singeing bulbs or fast-moving car lamps>)>].

第 1 文は特に難しいところはない。強いて言えば、purely が 100% を表す語であることから、部分否定とわかる日本語を用いることに注意する。

第 2 文前半も特に難しいところはない。コロンの後では、具体例が列挙されており、faster という比較級で「変化」を感じさせる日本語を使うように注意する。thrive は辞書通り訳せば「繁栄する」となるが、前後のつながりから少々不自然に聞こえるので、「個体数を増加させた」といった工夫があってもよいだろう。

第 3 文については、“singeing bulbs” が何のことを指すのか理解するのに苦労するが、bulb という語から電球のことを言っていることはわかるので、昆虫にとって害を受ける状況を想像して、電球を修飾する語を推測するしかないだろう。

- (3) 最終段落第 1 文以降のおよその意味は、気候変動とは異なり、照明問題はお金をかけるよりもお金を節約することで解決され、使う照明の数を少なくすれば、お金も電力も光の照射も減るだろう、ということである。これをうけて、下線部(3)として「だがそれには考え方を考える必要があるだろう」が続き、「それ」は照明をなるべく使わないようにするということを指している。下線部(3)の次に「このことの核心にあるのは、夜に光を灯したいという人間の心に深く根付いた欲求である。私たちは今でも、ある意味では夜を恐れている。人間には夜の時間を昼の時間のように変えることができる力があるのだが、私たちはこれまで、実際の必要以上にそれを追い求めてきた」という内容が続いている。考え方を考えるというのは、これまでずっと夜が怖かったので夜を光で明るくしたいという欲求を抑えて、(公害対策への配慮から) 照明の使用を控えていくことを意味している。これを踏まえて、答案を作成すればよい。

## 〔問4〕 和文英訳

- (1) 「病気になるときは、生活リズムやこころのバランスが崩れています。」

「病気になる」は *become ill [sick] / get ill [sick] / develop illness* など、「生活リズム」は *lifestyle / daily lifestyle / lifestyle rhythm* など、「こころのバランス」は *mental [emotional / psychological] balance* など、「崩れる」は「生活リズムやこころのバランスが乱される[失われる]」と考えて *be disturbed / be lost* にするか、「～における不均衡がある」として、*there is an imbalance in ~* などとするとよい。なお本問の日本語は誰にでも当てはまる内容であるため主語は *we* とするのが妥当だろう。

- (2) 「病気はこれまでの生き方を変えたほうがいいという体からのサインでもあるのです。」

「病気」は *disease / illness* など、「これまでの生き方」は *the way we have been living / the way we live* など、「変える」は *change / alter / revise* など、「～したほうがいい」*it is time to do ~ / it is time S' V' / it is better to do ~ / we should do ~* など、「～という体からのサイン」は *the body's sign that S' V' / a sign from the body that S' V' / the body's sign of the need to do ~ / the body's sign (for ...) to do ~ / the body complains that S' V'* など、「～でもある」は *also / it can also be said that S' V'* などとするとよい。第1文の言いかえと考えると、「～でもある」という表現はなくてもよいであろう。

- (3) 「事実を直視して、病気に立ち向かうこころの準備ができれば、免疫機能は活性化し、体も治癒に向かって態勢を整えることができます。」

「事実を直視する」は *face the facts / don't turn back on the facts* などとする。*turn back on ~* は「～から背を向ける」の意味。「病気に立ち向かう」は *confront illness / tackle the illness* など、「～する心の準備をする」は *be mentally prepared to do ~ / prepare our mind to do ~*、「免疫機能」は *the immune system [function]*、「活性化する」は *activate* であるが、「免疫機能は活性化される」ため *be activated* と受動態にする。「～にむかって(…が)態勢を整えることができる」は、*make it easy [possible] to set the stage for ~ / can be ready for ~ / allow ... to start to do ~* などとする。

講評

- 問1 [長文総合] (標準) 「AIが代わることのできない職種」に関する英文。指示内容を明示させる下線部和訳に、昨年度同様の語句整序問題が5問。同義語選択問題も1問出題された。語句整序の解答形式は記号に変更された。
- 問2 [長文総合] (標準) 「3万1千年前の足の切断手術」に関する英文。昨年度と同様10カ所の空所を埋める問題が出題された。和訳は、指定された単語の指示内容が下線部とかなり離れている。
- 問3 [長文総合] (やや難) 「人工光のもたらす悪影響」に関する英文。和訳と説明問題からなる純粋な記述問題。力の差が出やすいだろう。
- 問4 [英訳] (標準) 「病気になる理由とその対処法」に関する和文中の一部を英訳する問題。昨年度と同様に下線部3カ所を英訳する形式。文の構造自体は平易なので、易しい医学系の語彙があれば対応できる。

大問数は昨年度と変わらないが、設問には若干の変化が見られた。全体としてはやや分量が増加し、記述量も増加している。記述問題でどれだけ解答の質を保てるかで大きな差が出るだろう。目標は65%

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156 まで

<p>医学部進学予備校 <b>メビオ</b></p> <p>☎0120-146-156 <a href="https://www.mebio.co.jp/">https://www.mebio.co.jp/</a></p>	<p>医学部専門予備校 <b>YMS</b> heart of medicine</p> <p>医学部専門予備校 <b>英進館メビオ</b> 福岡校</p>	<p>☎03-3370-0410 <a href="https://yms.ne.jp/">https://yms.ne.jp/</a></p> <p>☎0120-192-215 <a href="https://www.mebio-eishinkan.com/">https://www.mebio-eishinkan.com/</a></p>	 <p>登録はこちらから</p>
---	--	---	---

<p>諦めない受験生をメビオは応援します！</p> <p><b>医学部後期入試</b></p> <p><b>ガイダンス</b> <b>参加無料</b></p> <p><b>2/11 (火・祝)</b> 詳細やお申込はこちらから </p> <p>14:00～14:30 医学部進学予備校メビオ校舎</p>	<p><b>私立医学部</b> <b>2025年入試対策</b></p> <p><b>大学別後期模試</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2/13 近畿大学医学部</li> <li>2/19 金沢医科大学</li> <li>2/20 昭和大学医学部</li> <li>2/23 聖マリアンナ医科大学</li> </ul> <p>詳細やお申込はこちらから </p>	
<p>医学部進学予備校 <b>メビオ</b> フリーダイヤル ☎0120-146-156</p>	<p>校舎にて個別説明会も随時開催しています。 【受付時間】9:00～21:00 (土日祝可)</p>	<p>大阪府大阪市中央区石町2-3-12 ベルヴォア天満橋 天満橋駅(京阪/大阪メトロ谷町線)より徒歩3分</p>